

第48回愛媛県教育会俳句募集入選句
 協賛 愛媛県学校生活協同組合連合会

吉田 博子先生選

特選

木偶の口カツと裂けある大暑かな 松山市 姫田みゆき

(評) 木彫りの人形がカツと口を開け、それは大きく裂けているのだ。阿波の木偶人形だろうか。髪を振り乱した鬼面の人形を想像した。その恐ろしい形相は内面の悲しきをも滲ませ、作者の心を熱くする。季語が効いている。

優秀

セスナ機の音の余韻や終戦日 松山市 赤松 聖則

白南風や分教場の小さき椅子 松山市 吉川喜恵子

佳作

冬日差す海を背にしてイルカショー 松山市 田所 晴美

肱川の赤橋かすむ初あらし 伊予市 高市 礼子

落ち葉舞ふ写生する子の前うしろ 松前町 村上 朋子

冬ざれの鈍き音漏れ船溜 松山市 大久保美香子

赤蜻蛉追ひ掛ける兎に夕日染む 松山市 池田 容子

鍋いっぱい煮込むシチューや冬に入る 新居浜市 中原 佳子

金婚の二人三脚日脚伸ぶ 新居浜市 永易まるみ

一面の紅葉吾子の靴弾む 松山市 徳吉 由美

冬に入る阿吽の像の力瘤 松山市 富永 正一

鳶紅葉廢墟の洋館凜と建つ 松山市 池谷 美水

ジュニアの部 応募校 71校 投句数 2,222句
 (校名下の数字は学年)

池田 尊之先生選

特選

塩まいてまで貝とびだす八秒後 浅海小3 石田 有杏

(評) 馬刀貝は春の季語。穴を見つけて塩を入れ、細長い貝が飛び出てくるのをわくわくしながら待ち構える作者が見えるようです。

一般の部

投句者 48名 投句数 84句

吉田 晃先生選

特選

海の色濃く成るあたり鰯が飛ぶ 松山市 能田よし子

(評) 作者の豊かな感性が窺える。海の色に違いがあること、鰯が跳ねること等全て自明の理だが、その一瞬の色彩と動きの光景を切り取った心の豊かさがいい。

優秀

白南風や分教場の小さき椅子 松山市 吉川喜恵子

芋の葉に透く水玉のうすみどり 松山市 小坂 三国

佳作

赤ペンより鋏を持つ手の四月かな 今治市 仙波 絹子

少女らのはじける笑ひ秋桜 伊予市 西尾 芳子

あさがおや孫の音読二階から 松山市 野尻 精一

長崎の帰らぬ友や今朝の秋 今治市 金子 俊雄

セスナ機の音の余韻や終戦日 松山市 赤松 聖則

落ち葉舞ふ写生する子の前うしろ 松前町 村上 朋子

デジタルの引き継ぎ文書春深し 松山市 北岡 典子

新築の屋根に令和の初日差す 新居浜市 中原 佳子

少年のゆるがぬ進路枇杷の花 新居浜市 永易まるみ

冬に入る阿吽の像の力瘤 松山市 富永 正一

選者紹介



俳誌「水煙」同人会長
吉田 晃

元中学校長
日本学生俳句協会愛媛事務局長
松山市在住



俳誌「泉」編集委員長
吉田 博子

元中学校長
愛媛県俳句協会理事
松山市在住



俳誌「泉」同人
池田 尊之

元小学校長
松山市在住



子規顕彰松山市
小中高校生俳句大会選者
大久保 礼子

松山市立中島小学校校長
松山市在住

優秀

がまんしておとうとにやるあぶらげみ
冷や麦がざるのかたちにかたまつた
「元氣です」岡山白桃手紙付き

宮前小1 藤瀨 悠玄
石井小2 戸巻 望来
椿中2 山登 真彩

佳作

かくれんぼかくれたあしにかがとまる
せんせいとおんどくしたよものはな
みつけたよパパのはたけのくろいせみ
川あそび魚見えたとまたもぐる
しつてるよにんじんかくれたハンバーグ
風がふく田んぼのいねがはしつてる
食べ頃が静かに過ぎるメロンかな
算数はなぜ四時間目夏の昼
おんぶされ城の向こうにじ見える
指先も赤く色付くりんごむき
夏休みかみのけおろすまたくくる
衣がえぼくのタンスに兄の服
おにごっこ地面にあせの落とし物
日が暮れて釣果はクラゲとレジ袋
原爆忌丸い背中影法師

小野小1 平岡 壮真
立間小1 赤松 京征
中島小1 島田 芽奈
椿小2 近藤 匠
石井北小2 山川 慶悟
長月小2 湯浅 量也
船木小4 伴野 詩
広田小4 笛野戸遙陽
番町小4 石原 万稔
雄郡小4 中井ちひろ
味酒小5 佐伯 和香
垣生小5 藤岡 航平
荏原小6 渡邊 千悠
日浦中1 土居 千紘
垣生中1 烏谷 莉央

大久保 礼子 先生選

特選

キリギリスゆび先ではね草ではね
〔評〕「〇〇ではね」の繰り返しが、キリギリスの動きにも俳句にもリズムを生み出しています。よく見て詠みました。

優秀

すずなりねわたしのトマトを母がつむ
ふわふわのソファアがとどいて秋を待つ
ハンガーの浴衣鮮やかに出番待つ
さくら小2 高橋 優奈
広田小5 山口 優菜
湯山中2 蟻川みなみ

佳作

じいちゃんたたべたアイスではがぬけた
ぬけがらのとなりちよこんとなかのせみ
ばあちゃんのもつをあげたらびかみかみ
さんばしも風がびーびー夏おわる
滝の水のみこむように冷やそうめん
おとうとの前ではわたしがこおりやさん
春の風水色シューズのデビューせん
サイダーのそつとおかわりおるす番
妹も私もコック夏休み
「あと一本」かけまわるのは赤とんぼ
段畑の手と実とハサミみかん色
玄關で待つ母の手に氷水
「久しぶり」その声ひとつ夏の果
竹刀振る気合のこだま蟬しぐれ
妹は僕の手花火見るばかり

三津浜小1 大内 颯汰
北条小1 梶野 優月
河野小1 御堂 恵右
福浦小2 菅原 堅心
潮見小3 鈴木 奏和
北久米小3 西尾ゆいな
垣生小3 清水 稜也
小野小4 酒井 健吾
新居浜小5 長尾怜央菜
立間小6 毛利 綾花
真穴中1 山田 大悟
津田中1 楠本 陸人
垣生中1 大原 知也
椿中1 鹿間 杏
小野中3 宮内 凜青

令和2年度 第48回俳句募集応募状況

ジュニアの部				一般の部	
校種	市 町	校数	応募数	市 町	人数
小	新居浜市	10	22	四国中央市	1
小	松山市	38	1,636	新居浜市	2
小	砥部町	1	25	西条市	1
小	宇和島市	1	35	今治市	2
小	愛南町	2	31	松山市	35
中	松山市	18	451	松前町	1
中	八幡浜市	1	22	伊予市	3
				内子町	1
				八幡浜市	1
				宇和島市	1
合計		71	2,222	合計	48
(参考) 元年度		70	1,945	(参考) 元年度	83
(参考) 30年度		45	1,371	(参考) 30年度	45
(参考) 29年度		44	1,108	(参考) 29年度	49